

J. Sights Corporation

リアルな現地 ナミビア編 2024

J サイト株式会社

齋藤俊

今年最初の海外出張としてナミビアへ行って参りました。弊社はナミビアから伊勢海老(ロブスター *1)を輸入しており、サプライヤーと会議・打合せを行い工場視察も行いました。



また、現地では漁業省の方々と面談し、日本ーナミビア間の貿易を拡大することにより弊社としてどのようにナミビア経済へ貢献できるかも会議を行いました。ナミビア産伊勢海老(ロブスター)の品質は非常に高く、御節のメインとして多く使用されております。本レポートでは伊勢海老のことでなく、私が出張中に経験したナミビアでのことを記載させていただきます。

今回のレポートではナミビアのスポーツ観戦(サッカー)について記載致します。ナミビアの3大スポーツはクリケット、サッカー、ラグビーです。特にサッカーはイングランドのプレミアリーグが毎週放送されており、スポーツバーではサポーターが集まりお酒を飲み応援歌を歌い、熱狂的にチームを応援しています。



私がナミビアに滞在した期間はサッカーのAfrica Nations Cupが開催されており、現地の友人とスポーツバーでナミビア VS アンゴラの試合を観戦しました。ナミビアとアンゴラはライバル同士の国であり、試合観戦中はナミビアが攻め込まれているときは殺気だった雰囲気になり、日本人一人で行くのはまず難しい(危険)な

J. Sights Corporation

場所だなと改めて感じました。試合の結果は3-0で完敗してしまいましたが、試合が終わると突然みんなで歌を歌い踊りだすという非常に黒人らしい陽気な雰囲気が感じられ貴重な経験でした。スポーツバーではテレビでサッカーなどのスポーツを観戦するのはもちろん、ビリヤードやテーブルサッカーができるようになっていました。私はビリヤードをやった経験がほとんどありませんでしたが、現地の友人や友人の友人が丁寧に教えてくれ非常に楽しむことができました。次回ナミビアに行くまでにはよりビリヤードをうまくなって勝負に勝ちたいと思います(今回は連戦連敗のぼろ負けでした。。。)。



今回はスポーツという大きなものを通して現地の方々と多く話すことができ、改めてスポーツの偉大さ・凄さを感じました。今後も様々な国に行くことになると思いますが、現地の食文化はもちろん、その他の地元文化を理解し楽しみつつ出張をしたいと思っています。

💡*1 消費者庁の見解によると海外産のイセエビ類イセエビ科の商品も産地が明確な場合「伊勢海老」と表記でき、弊社取り扱いのイセエビは紛うことなく「ナミビア産の伊勢海老」です。今回ご紹介のナミビア産伊勢海老をはじめ、弊社商品にご興味のある方はお気軽に[お問い合わせ](#)ください。

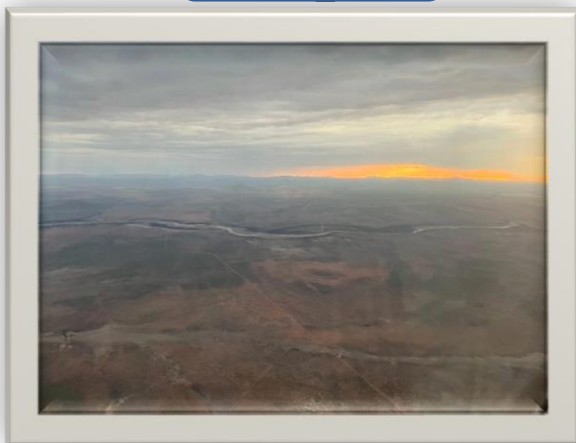


J. Sights Corporation

Photo Gallery



ギラギラのドーハ↑
と
砂漠のウィントフック↓



ナミビアの質の高い海産物が豊富
カキもアワビも大変立派で美味です！



今回のフライトもハードでした！
ドーハ(カタール)→ヨハネスブルグ(南アフリカ)を経て
ようやくウィントフック(ナミビアの首都)に到着
ここまでで約 30 時間…



ウィントフックからさらに南にあるルーデリッツへは
フライナミビアで約 1 時間
チケットを取るのも一苦労のエアラインで、搭乗手続
きがスムーズにいくのか不安でしたが、無事に機体
を確認しー安心



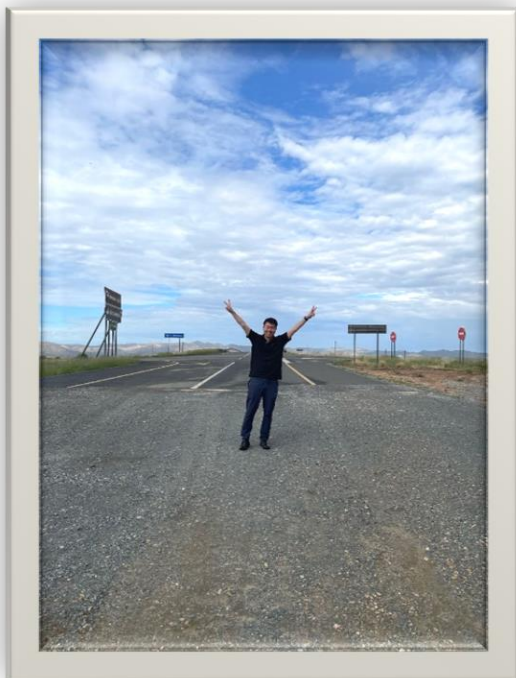
J. Sights Corporation



独立記念博物館と初代ナミビア大統領 サム・ヌジョア像

突如訪れる
道路の終わり

尻尾まではっきり…!



~Fin~